

# 上田市デイジー教科書導入紹介

I. 上田市の紹介

II. 上田市の教育

III. 導入までの経緯

IV. 現在の状況と課題



# I. 上田市の紹介

ひと笑顔あふれ  
輝く未来につながる健幸都市



県東部に位置、第3の中核都市

- ・人口16万人、面積552 k m<sup>2</sup>
- ・晴天率高く、日照時間が長い。
- ・降水量の少なさ全国第2位
- ・合併10周年



平成18年、1市2町1村が合併



# 地勢・観光

上田市ってどんなところ？



- ・菅平高原～美ヶ原高原などの自然に囲まれた盆地、千曲川が中央部を通過、周囲の山々からの源流が合流し、長野盆地へ。

- ・東京から最短78分
- ・名古屋から3時間半
- ・上田城趾公園  
「春の千本桜祭り」



- ・緑溢れる森林・里山と清らかな水の流れる川に育まれた自然豊かな地域
- ・標高の低い平坦地では、水稻、果樹、花きなどが、準高冷地では野菜や花き、高冷地では野菜を主力とした生産
- ・「蚕都(さんと)」として、地域のリーディング産業であった蚕糸業(養蚕、蚕種、製糸)  
→機械金属工業に受け継がれ、現在では輸送関連機器や精密電気機器などを中心とする製造業が地域経済を牽引



上田市ってどんなところ？

# ・歴史 ・産業



『信州の鎌倉』 鎌倉時代の文化財



『日本一の兵』 真田幸村公像と上田城



念願叶い 平成28年  
NHK大河ドラマ  
「真田丸」の放映が実現

## ○奈良～鎌倉時代

信濃国の中心 国分寺跡  
北条氏3代による仏教文化  
国宝や重要文化財が多い

## ○戦国時代～江戸時代

真田氏による上田城築城、千石氏、  
松平氏らによる城下町社会の形成

## ○明治・大正・昭和・平成

養蚕業を中心とした時代を経て、  
現在、商業、工業、農業、観光のバラ  
ンスのとれた都市として着実な発展

## ○平成18年

新市政がスタート

平成28年、新市政10周年を迎え、  
第2次上田市総合計画を制定



上田紬



## Ⅱ. 上田市の教育

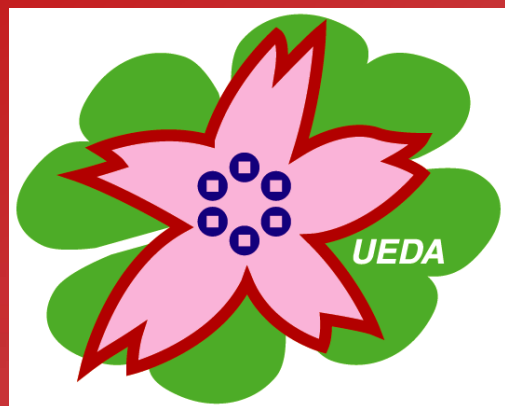
第2期上田市教育支援プラン(H28～)

### ★基本理念

「**燦と輝く上田市の未来を紡ぐひとづくり**」

### ★基本目標

- 確かな学力を養う
- グローバルな能力を養う
- ふるさと上田に学ぶ



市章



# ★基本施策

## 1 学力の定着・向上

### 支援策2

## 『ICTを活用した効果的な学習の推進』

### ★これまでの主な歩み

～H17 旧4市町村学校ごとにおける情報環境  
PC教室・一部教職員PC整備完了など

H18 学校間ネットワーク整備 (マルチメディア情報センターにサーバー設置)

H19 教職員PC配布完了

H20 情報教育指導主事配置

H21 電子黒板を各小中学校1台配置

H22 全学校ホームページ開設完了・ICT支援員事業

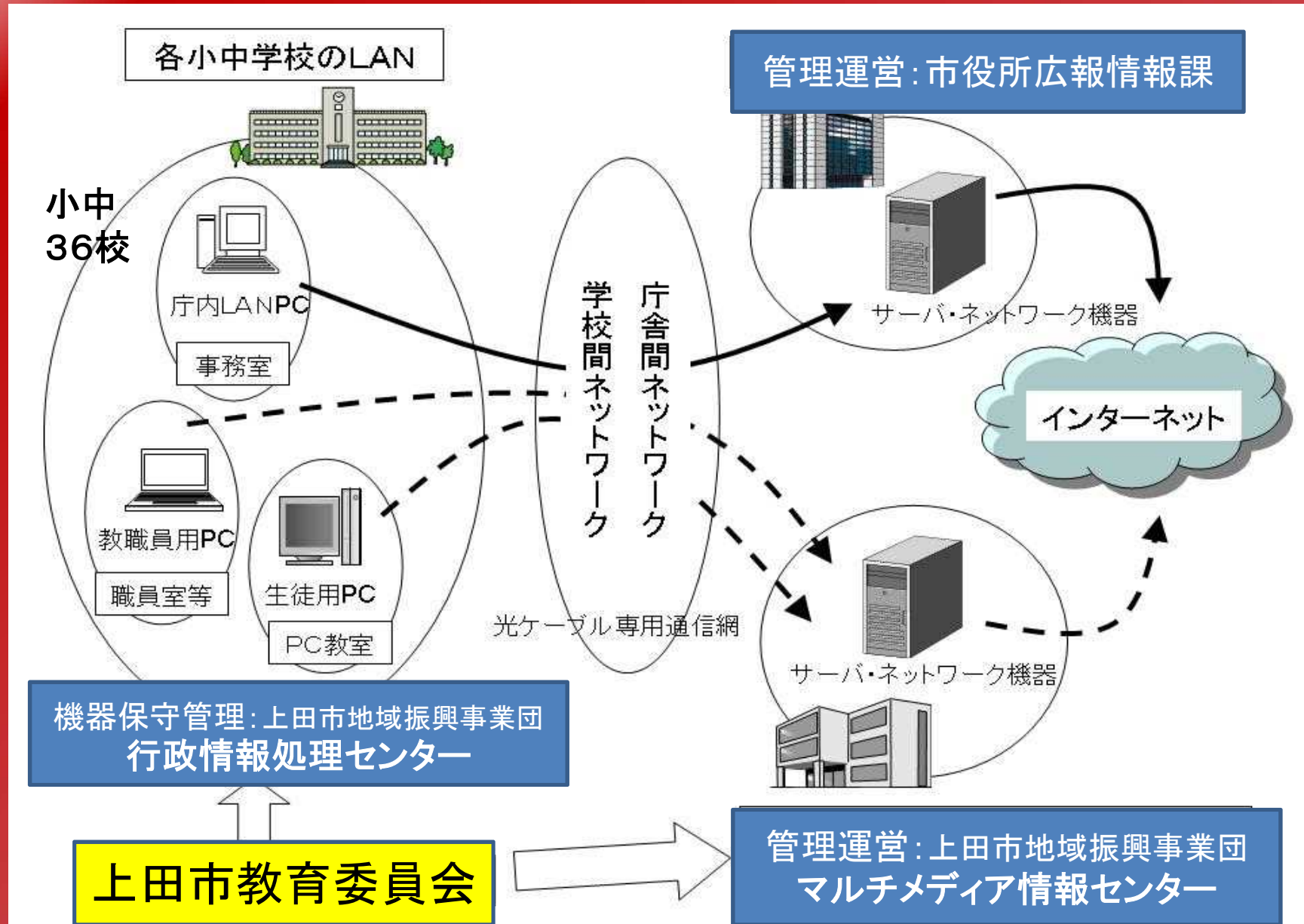
H25 タブレットPC導入実験

H27 特別支援学級タブレットPC導入

H28 小学校高学年：各教室大型TVと算数デジタル教科書導入



# 上田市情報化環境



## Ⅲ. 導入までの経緯

★上田市における情報化環境整備  
「タブレットPCや無線LANの導入検討」

★地元企業による開発実験協力依頼  
「デジ教材:作成アプリと再生アプリの開発」

- ①H25 市内小学校において、開発実験および「デジ教科書」使用始まる  
★地元企業からの実験校にタブレットPCの貸し出し
- ②「デジ教科書」の有用性が高まっていく  
★児童、教師共に使用による学習意欲や理解度の向上効果が認められる
- ③H26以降も実験校が増加
- ④H27 全8校(小5, 中3)へのタブレットPC導入と学習教材使用

- ①タブレット導入が進み「デジ教科書」導入を試み、申請希望校が増加
- ②市教委への申請や導入の相談や要望が高まっていく

- ①H28 日本障害者リハビリテーション協会への相談  
→ 「デジ教科書」使用承諾を得る
- ②上田市教育委員会で一括申請 (上田市教育委員会が管理)
- ③「デジ教科書」使用は、市教委への申請のみで可能



## 平成24年 導入のはじまり

- 『ICT機器整備とデジタル教材開発』  
文部科学省の情報化ビジョン H23
- タブレットPCや無線LANの導入
- デイジー教科書使用はじまる
- シナノケンシ株式会社から実証実験協力依頼  
デイジー教材製作ソフトの開発事業  
実験校へのタブレットPCの貸し出し



## 平成25～27年 学習効果が認められる

- シナノケンシ社によるデイジー教材製作ソフト

デイジー教科書の使用が始まる  
その後、再生アプリ実証実験の協力依頼

- 無線LANの安全性が認められる

- 市教委の事業

小学校5校、中学校3校の特別支援学級へのタブレットPC配布、  
学習教材としての配布

- 積極的に事例発表

『読みに困難を抱える児童への支援』について  
マスコミからの注目 市外や県外、全国に広がる



## 【社会環境】

文部科学省「教育の情報化ビジョン」 ICTの積極的活用・効果的活用  
・教員の指導力向上、電子黒板、1人1台の情報端末、など

## 【上田市の教育情報化施策】

- これまでの施策、バックボーン
  - 学校のPC教室整備、学校間ネットワーク整備(ハード面)
  - ICT支援員派遣、機器修理・故障サポート、教職員向けパソコン研修(ソフト面)
- タブレット+デジ教材導入
  - 実験校(小1)での導入、実証実験実施(H25~)
  - 市内8校(小5、中3)の特別支援学級への導入(H27)
  - 全特別支援学級への無線LAN導入(H27~)

## 【外的要因】

- 地元企業・シナノケンシ社でデジ教材再生アプリおよび作成アプリ開発、実証実験の依頼
- 日本障害者リハビリテーション協会よりコンテンツ提供協力

## 【導入実験結果】

- 児童・生徒・教師に学習意欲・理解度の向上が認められる
- 神科小・池田教諭の実践例
- 各学校でのデジ教材利用の広まり、マスコミからの注目

事例発表資料①



「文章が長くて...どこ読んでたんだっけ・・・」

(6年A児)

読みに困難がある児童が、デイジー教科書を使いながら学習プリントの問題を解くことができた。

「おれ、みんなと一緒に読めない(音読できない)から・・・」(6年B児)

特別支援学級に在籍する読みに困難がある児童が、デイジー教科書を使い、通常学級の集団と一緒に音読学習を行う。自分が音読する番になるとデイジー教科書から再生される音声を聞きながら音読した。

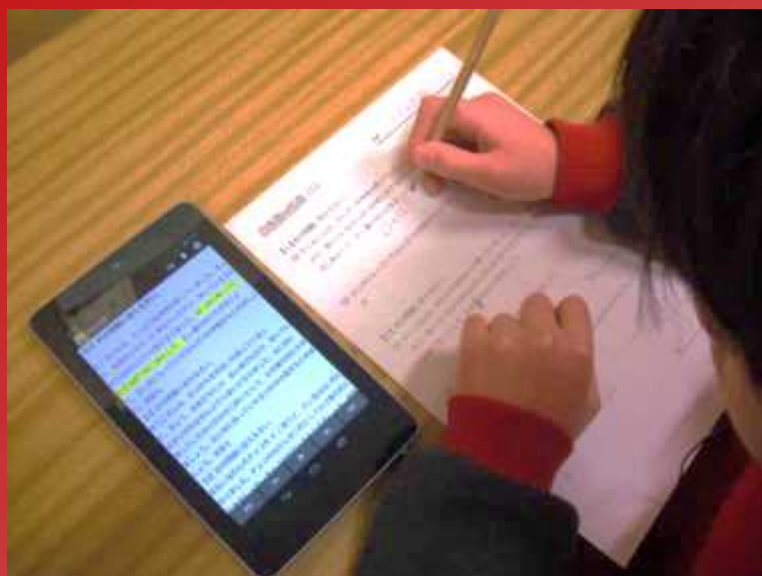


## 事例発表資料②

「先生、これ何て読むの？」

(6年C児)

読めない漢字に読み仮名をふるなど、**文字を読める児童も**デイジー教科書を有効に活用することができた。

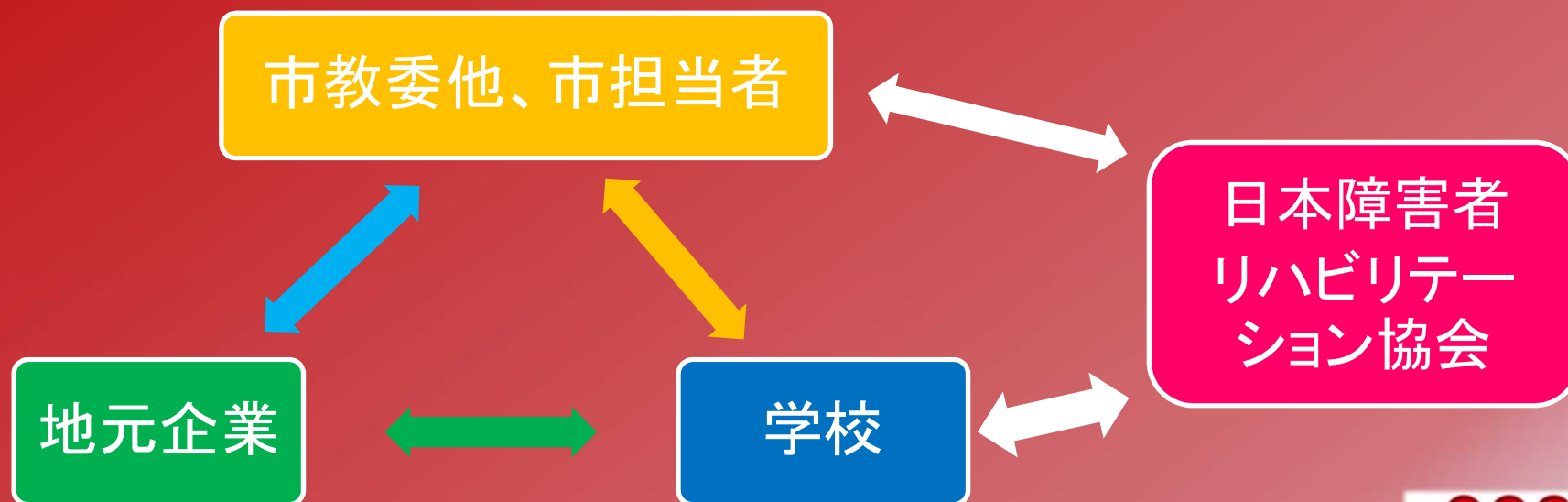


「プリントの問題が読めない……」(6年D児)

学習プリントの問題文を**制作ソフトで変換してタブレットに読み込ませ**、デイジーが代わりに問題を読む。「たし算の式を書きましょう」の**問いに気づき**、解答を始めている。

# 上田市の導入ふりかえり

- 文部科学省の情報化ビジョン→上田市タブレットPC導入検討時期
- 地元企業(シナノケンシ株式会社)の協力
- ◎授業活用と効果の広まり(神科小:池田明朗教諭)
- ◎市教委担当者による整備や連携、舵取り
- 日本障害者リハビリテーション協会からの提供



## 平成28年 申請の相談から使用承諾

- **タブレットPC使用進む** デイジー教科書の一括導入申請へ
- **申請した学校、しなかった学校**  
「申請やダウンロードの仕方がわからない」  
「よくわからないから使わなかった」
  - ★申請時に必要なこと「使用者、目的、使用教科書登録」を個別で、年度ごとに登録を行う。
  - ★使用を希望する学校から市教委への一括導入の希望
- **相談の会をもつ** 市担当者、リハ協、サイパック社長様の参加  
「上田市教育委員会管理の下、申請・提供の一括導入の希望」
- **使用環境が整う** 各学校へのデイジー教科書の提供ができるようになる



## IV. 現在の状況と課題

- **タブレットPC (iPad)、無線LANアクセスポイントの導入**  
全小学校特別支援学級用に配備 H30年度までに約150台
- **10校がデジータ教科書を使用**  
デジータ教科書とデジータ制作ソフトウェアの併用  
デジータ化した教材を児童生徒に提供
- **教職員の理解と活用力、稼働率の向上**  
教職員が安全かつ負担無く有効活用していく
- 『わかる・楽しい授業』の実現と学ぶ意欲の高まり
- **管理運用面と環境整備や対応**  
関係者との連携体制

